

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	金属や油による土壌や水質への影響を考慮し、保管場所や浄化水槽の設置を行い汚染防止に取り組んでいる。						6.6							15				
16	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	未利用部材や端材のリサイクルや不要パレットのリユースなど、生産現場での3Rに工夫して取り組んでいる。									12.5	14.1							
17	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	生産現場ではほとんど水を使用しないが、事務所やトイレを自動水栓に切替え、水の使用量削減に意識して取り組んでいる。						6.4 6.6											
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】今後の検討を進めていく。			3.9			6	7			12	13.3	14	15				
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】今後の検討を進めていく。										12.6							
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後の検討を進めていく。							7.2				13						
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後の検討を進めていく。										12.2	13	14	15				
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	取引先とのガイドラインに則り、絶対に汚職が発生しないよう厳重に注意している。														16 16.5			
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	お客様に対して適切ではない契約が行われることの無いよう高い倫理観をもって厳重に注意している。														16			
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産の侵害に当たらないか、取引先と対話を行いチェックしている。							8.2 8.3	9									
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報管理規程を設けており、またルールブックの配布や社内研修を行っている。														16			
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取扱いはない。														16			
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先からのCSRアンケートに対応し、対話を行っている。				5			8		10	12	13	14	15	16	17		
28	□	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表していると記載			3					8	9	10					17		

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

